

事務事業マネージメントシート

作成日 平成31年 04月 26日

事務事業名	水道施設改良事業				担当	水道部 水道課 清水係								
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり				増補版施策名								
施策名	1	水道事業の推進				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業								
関連個別計画						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ							
法令根拠							<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和39年度~)							
予算科目	12.水道事業会計	4.資本的支出	1.建設改良費	2.配水設備改良費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)									
事業概要	水道施設(浄水場・配水場)の老朽化等による故障を未然に防止し、安全で安定した水道水の供給を図っている。													

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
30年度実績 各水道施設の点検業務を行い、異常があったものの改良を実施する。 石法寺浄水場電気設備外更新、同浄水場2,4,5,9,10号取水泵更新、三谷浄水場電気設備外更新、大谷台配水場1・2号真空ポンプ更新、三谷浄水場1号取水流量計更新、大谷台配水場フェンス更新等を行った。	ア:点検改良件数	件	14	10	18	18	8
	イ:						
31年度計画 同上 石法寺浄水場配電設備(取水動力盤外)更新、西田井浄水場受配電設備(自家発電機外)更新、荒町配水場発電設備(自家発電機外)更新、久下田浄水場ポンプ設備(配水ポンプ)更新等を行う。	ウ:						
	エ:						
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
水道施設	ア:施設数(浄水場・配水場数)	箇所	9	9	9	9	9
	イ:						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ウ:						
	エ:						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
水道施設の故障等を未然に防止する。	ア:未然に防いた故障件数	件	14	10	18	18	8
	イ:						
⑤上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	ウ:						
	エ:						
⑥上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移							
清潔でおいしく、豊富で安全な水を安定供給する。	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア:給水人口	人	67,367	67,887	68,062	68,317	68,599
事業費	イ:給水世帯数	世帯	24,805	25,401	25,912	26,427	26,968
	ウ:普及率	%	83.6	85.5	85.6	86.0	86.5
投 入 量	エ:水道水に満足している市民の割合	%	67.8	67.5	65.2	62.0	
	オ:						

(2) 総事業費の推移

	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支払金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	47,000	70,000	10,000	100,000
	その他	千円	17,010	0	0	0
	一般財源	千円	10,840	60,764	195,791	217,036
事業費計(A)		千円	74,850	130,764	205,791	317,036
人件費	正規職員従事人數	人	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	416	416	416	416
人件費計(B)		千円	1,743	1,728	1,726	1,734
トータルコスト(A)+(B)		千円	76,593	132,492	207,517	318,770
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等						

①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?	生活に欠かすことのできない水道水を安定供給するため。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	水道施設の老朽化により設備の更新が必要となっているため、平成26年度策定の「水道施設設備更新計画」及び平成27年度策定の「長期更新計画(アセットマネジメント)」に基づき実施している。 また、令和2年度に長期的視点を踏まえた水道事業経営の指針である「水道事業ビジョン」の策定を計画している。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 水道施設の良好な機能を維持することは、突然の故障等による断水などのトラブルを防ぐことになる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 利用者である市民に安定した水を供給することは、事業者の責任である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市内全域にある施設を対象としているものであり適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 施設は適正な管理を行っており、清浄でおいしく、豊富で安全な水を安定供給している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 廃止・休止した場合、施設の機能の低下と故障が多発し、安定した水の供給に支障をきたすことになる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 日常点検により、異常な箇所を早期発見し、小規模修繕等を行い機能維持を図り、経費節減に努めている。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 日常点検は最低限必要であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 利用者が水道使用料により公平な負担をしている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								